

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

中堅・中小企業の役割 (その1)

勢いのある経営者の三原則 松田 修一 (早稲田大学名誉教授)

1. 大企業は今、時代を乗り切るための方向性を見いだせず、自らが開発もできず、知恵も出せない状況にあるともいえます。これは大企業にとっては情けない状況なのですが、ベンチャー・ファミリー企業にとっては朗報であり、積極的にニュービジネスに挑戦する機会が訪れているともいえるのです。
2. ニュービジネスを起こせるのは、大企業ではなく中堅・中小企業です。既得権益に縛られた大企業では、イノベーションを起こす人材が育たないのです。その点、オーナー・ファミリー企業は、自ら決断し存続の責任を負わなければいけないので、責任感が違います。中堅・中小企業は、意思決定のスピードが早く、時代を乗り切る能力が高く、社内が一枚岩になれるので、機動力もあります。
3. 私が考える成功する中堅・中小企業経営者の条件としては、時代の流れを俯瞰できる「先見性」と、タイミングを計って責任権限を発動できる「判断力」、そして活力ある組織を束ねる「機動力」です。その資質を兼ね備えた経営者が事業構想力を持つことで、ニュービジネスが生まれるのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2016年4月2日号)

ワンポイント経営アドバイス

優れたスポーツの指導者と強い経営者とは重なる

古森 重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. 鍛え抜かれた力とスピード、磨かれたテクニック、チームの力を引き出して引っ張っていくハート。人間の持つ力を総合的に発揮して、ライバルに打ち勝つスポーツは、見ている者の心を動かす。ビジネスの成否を決めるのは人間の五体すべてに宿る力の総和であるという「五体論」とスポーツも同じだ。指導者の力量で成果が大きく左右されるところも、リーダーのあり方が勝敗を決するビジネスの世界に近い。
2. ラグビーが好例だろう。日本代表が南アフリカ代表を下した一線の立て役者が、チームを率いたエディー・ジョーンズ監督だったことは衆目の一致するところだ。彼はラグビーに必要な要素とチームに所与の条件。これらを組み合わせて、伸ばすべき長所を伸ばして短所を補うトレーニングを課した。4年間過酷なトレーニングに日本代表チームはよく耐え、体格の及ばない強豪に対して見事な勝利を挙げた。優れたスポーツの指導者がなしていることは、強い経営者が企業経営においてなしていることと重なる。

(参考:「日経ビジネス」:2016年4月25日号)

経営者のための理念・哲学

無になり切ってこい

古田 鷹村 (書家・94歳)

1. 字を書くに当たって緊張感が伴う。それはいいことなのですが、そのためには、自由なハタラキが失われてしまう。古人は、「無繩・自縛」といいました。自分で自分を拘束する。この状態から脱却する手立てが、禅の中にあるような気がしてならない。そんな矢先、松本洪 (著名な漢学者) から大森曹玄老師をご紹介いただきました。正式に相見の礼を経て参禅を許され、それから長い苦闘の日々が続きました。
2. ご承知のように、臨済宗の公案により修行してゆく。私の場合、第一関として与えられたのが、「趙州の無字」でした。「無になり切ってこい」「死に切ってみよ」「全身心を挙げ熱鉄丸になってブチ当たれ」など厳しく指導されました。

(参考:「致知」2016年6月号)

古典に学ぶ

日本人の心

(解説) これらのことばは、アイザック・ペニントン (1745-1817、イギリスの医学者) や他の哲学的神秘家たちの文章と、何とよく似た響きがすることだろうか。日本人の心は、神道の単純な教義に現われているように、とりわけ王陽明の教えを受け容れ易かったのだと考えたい気がする。王陽明はその良心無謬説を極端な超絶論にまで押しすすめ、良心で正邪善悪の区別だけでなく、心的事実や物的現象の本性をも認知する能力を付与している。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)